

(様式第2号)

## 団体の概要書

団体名	(ふりがな) とくていひえいりかつどうほうじん にほんきょういくかいはつきょうかい 特定非営利活動法人 日本教育開発協会		
主たる事務所の所在地	〒532-0012 大阪市淀川区木川東 4-6-3 新大阪大同ビル 4階		
代表者氏名	(ふりがな) やまなか まさゆき 山中 昌幸	構成員数	10 人
設立(活動開始)年月	2001年 3月	NPO法人 認証年月	2001年 6月
主な活動地域	大阪府		
ホームページの有無	○ (URL <a href="http://www.jae.or.jp">http://www.jae.or.jp</a> ) / 無		
団体の設立経緯	当団体理事長、山中昌幸が、高校教師を志望し、広い視野と様々な経験が必要と考え、海外20カ国を放浪した際、受験教育に偏った日本の教育に疑問を持ち、2001年に当団体を創業した。 起業家教育の普及、起業家精神の活動を実践するものである。青少年を対象に、生きる力(チャレンジ精神、自立心、想像力等)と職業観を養い、個人の夢の発見と実現の一助を担うことと、起業家教育に関する活動を行う団体の支援を通じて公益に貢献することを目的とする。		
これまでの主な活動実績	2001.3 東大阪で創業 2002.10 キッズマートを全国5箇所で開催(大阪市、大分市、尼崎市など) 2003.3 中学生向け起業家教育教材を大阪商工会議所より受託 2004.4 アントレターンが経済産業省チャレンジコミュニティモデル事業に認定 2005.5 ドリカムスクールが経済産業省キャリア教育モデル事業に認定 2005.12 これからの社会と教育フォーラムを開催(約150人参加) 2007.4 花園大学・大阪経済大学等の大学講義を企画運営 2007.8 小中学生向け起業家教育イベントを大阪市より受託運営(約300人参加)		
事業年度	4月 1日 から 3月 31日		
活動分野	※下表「活動分野別リスト」の番号をご記入ください。 2、11、14、15、		

### 【活動分野別リスト】

1 保健・医療・福祉の増進	7 地域安全	13 科学技術振興
2 社会教育の推進	8 人権擁護・平和の推進	14 経済活動活性化
3 まちづくりの推進	9 国際協力	15 職業能力開発・雇用機会拡充
4 学術・文化・芸術・スポーツ振興	10 男女共同参画	16 消費者保護
5 環境保全	11 子どもの健全育成	17 市民活動支援
6 災害救助	12 情報化社会	

<p>貴団体の活動において、NPOならではの特性を活かしている点</p>	<p>学校にて企業と協力して、仕事についてのリアルな情報提供を行うプログラムを実施しており、その際に企業のニーズ（自社をPRしたい、採用につなげたい等）、学校のニーズ（企業に協力してほしい）どちらかに偏るのではなく、それぞれの考え方を調整し、お互いの持っている良さを活かすコーディネートを行っています。 これは単なる調整機能というよりも、持続的に行われる社会の仕組みとしていくために、双方が活かしあう考え方、やり方を浸透させていく狙いを持っています。</p>
<p>貴団体の活動を多くの市民に周知するためにやっていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページでのプログラム実施予定や、成果の発信</li> <li>・新聞、雑誌、テレビなどメディアに対するリリース（実績参照）</li> <li>・メールマガジンや会報誌での継続的な発信</li> </ul>
<p>貴団体の活動における現在の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムに参画してもらえる学校、企業を増やす仕組みづくり</li> <li>→推奨するプログラムが3日間なので心理的、物理的に参画へ負担を感じる</li> <li>・上記参画に対して関心を持つ学校、企業への効果的な広報活動</li> <li>→現状では口コミが中心</li> </ul>
<p>貴団体の活動の将来展望……</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪を代表する企業・団体、または大阪に大きな影響を与える企業・団体とのネットワーク（目標50社）をつくり、「大阪ならではの魅力」「そこでどんな仕事をしているのか」を、次世代に伝えていく仕組みを広げていく</li> <li>・また、そういった企業・団体で、若い世代と一緒にプロジェクト等を立ち上げ、彼らの力を活用しながら、地域・社会にプラスの影響を与えていく</li> </ul>
<p>当基金に登録を希望する理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの市民の方に若い世代が持っている課題を知ってもらい、協力者を募るきっかけにしたい</li> <li>・収益性は低くても、子どものために取り組みたいプロジェクトがあり、市民の協賛を得て実施をしたい</li> </ul>
<p>貴団体が当基金をPRするためにできること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページでの当基金を使った活動での実績を掲載</li> <li>・メールマガジン（300人以上）や会報誌（100人以上）に対して、当基金を使った活動実績をPR</li> </ul>
<p>市民に対するPR</p>	<p>若い世代の「将来に対する希望」を育んでいくのが私たちの活動の一番大きなねらいです。大阪に限らず、今の社会には様々な問題や課題がありますが、そんな中でも、希望を失わず自分たちの手で社会をよくしていくために行動する若い世代をもっと増やしていきたいと考えています。 結果が出るのは20年後、30年後ですが、教育という将来への投資を多くの方々と一緒に取り組んでいきたいと思っています。ご協力よろしくお願ひします。</p>
<p>確認事項</p>	<p>この申請書に記載する事項に間違いありません。</p> <p>代表者氏名 山中 昌幸 (氏名自署の場合は印不要)</p>